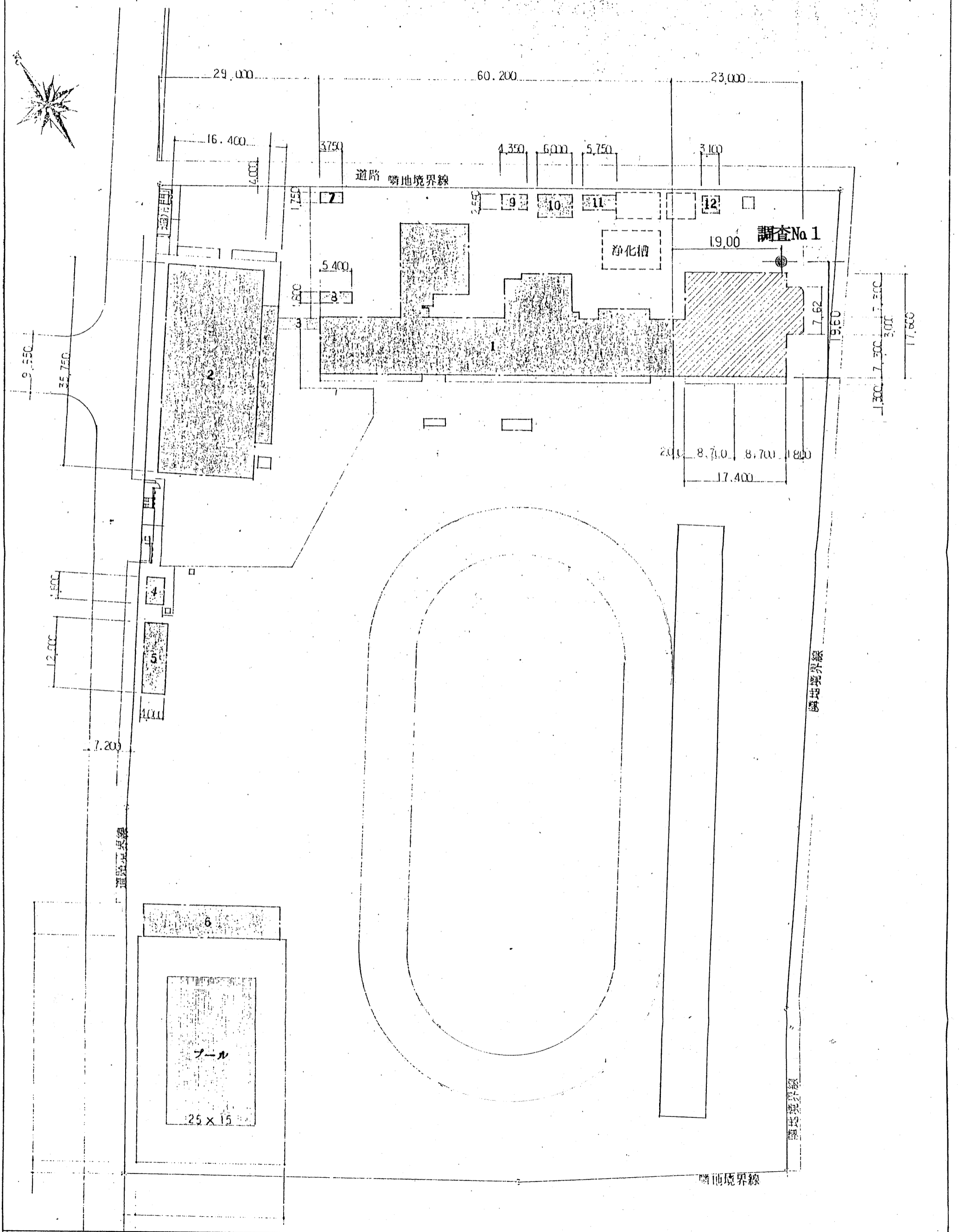




# 地質調査位置図

● ボーリング地点

S=1:600



柱状 - B A S E

第 1 図 土質柱状図

備考

調査名 宇都宮市立海道小学校増築 ボーリング方法 ロータリー 式  
 調査位置 宇都宮市海道町  
 地点番号 No. NO.1 標高 m 調査年月日 63年 4月19日~ 4月22日  
 孔内水位 GL-6.20 m 担当者名

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事	標準貫入試験											
									深度 (m)	N 値 回	10 cm 毎の 打撃回数			(N 値)						
											10 cm	20 cm	30 cm	10	20	30	40	50		
1		1.10	1.10	X		盛土	茶褐色	礫混じりロームの盛土 所により礫多い所あり												
2		1.75	0.65	△△		有機質ローム	暗黒色	旧表土のクロボク	1.15	5	1	2	2							
		2.35	0.60	△		軽石	赤褐色	今市軽石	1.49	34	8	14	12							
3		2.75		△				有機物混入ある 2.75mから粘土質となる、粘性強い	2.15	2	1	1								
		3.15		△					2.52	37	23	14								
4		4.05	1.70	△△		ローム	黄褐色~茶褐色		3.15	1	1									
		4.48		△△					3.46	31	31									
5		4.75	0.70	△△		軽石	黄褐色	鹿沼軽石	4.15	4	1	1	2							
		5.00		△△				有機物混入する 全体に粘性あり	4.48	33	9	8	16							
6		5.80	1.05	△△		ローム	黄褐色	6.00m付近褐灰色の細砂約10cm位挟む 位深幾分砂質となる	5.00	1	0	1								
		5.58		△△					5.58	58	29	29								
7		6.15		△△					6.15	4	1	1	2							
		6.50		△△					6.50	35	11	12	12							
8		7.15	1.90	△△		砂質ローム	黄褐色		7.15	6	1	2	3							
		7.47		△△					7.47	32	8	12	12							
9		8.15		△△					8.15	37	12	11	14							
		8.45		△△					8.45	30	10	10	10							
10		9.10		△△					9.10	50	29	21								
		9.23		△△					9.23	13	10	3								
11		10.25		△△				全体にφ5~40mm位の礫多く、所々φ80~100内外混入する	10.25	34	16	10	8							
		10.55		△△				8.70m付近所々砂分多い	10.55	30	10	10	10							
12		11.15		△△				10.70m、13.60m付近漏水ある	11.15	40	12	16	12							
		11.45		△△				14.35m付近から凝灰質砂混入	11.45	30	10	10	10							
13		12.15		△△					12.15	26	10	7	9							
		12.45		△△					12.45	30	10	10	10							
14		13.15		△△					13.15	29	10	7	12							
		13.45		△△					13.45	30	10	10	10							
15		14.45	6.75	△△		砂 礫	灰褐色		14.15	27/30	10/10	10/10	7/10							
		14.80	0.35	△△		凝灰質粗砂	茶褐色		14.50	10/30	4/10	3/10	3/10							